

北アルプス南部

## 十石山 山スキー

08年3月1日、2日

L 白土 菊池 西村(記)

白骨温泉林道終点ゲートでテント仮眠。翌朝 5:30 起床で十石山頂上(2524m)を目指す。天候は曇り、林道から十石東尾根に取り付く。エアリアだと西にまっすぐ伸びる点線の登山道で「地元有志が整備するが状況不安定で経験者向き」とある。標高差は約 1200 ㍎、雪の状態は初心者なのでよく分からないが、つぼ足だと軽く膝上までもぐる状態だ。スキーを履いての登りはルート取りが難しいように思う。傾斜がきつければジグザグに登らなければならないし、樹林も気になる。小ピークは見落とさずに巻かねばならないし、板の置き方が悪いとズルッと滑る。初心者の私は他の 2 人について行くのがやっとだ。

天候は悪化の傾向で樹林帯を出る頃にはゴーグルをつける。頂上付近はウィンドクラストしておりアイゼンを装着。頂上に着く頃にはホワイトアウト状態でGPSを頼りに小屋を探し当てる。この状態でコンパスしかなかったら小屋を探し当てるのは相当難しいと思う。

小屋は大きく立派で毛布や敷物が

たくさんある。2 階には個室もあり、民宿並みだ。

さーて乾杯でもしようかと座ったところで大問題発生。なんと菊地さんがガソリンコンロを忘れたのだ。ガソリンは有るが火がつかない。小屋の中を物色するが当然コンロなどない。かろうじて残り僅かのガスカートリッジを 4 つ見つけ部屋の中にツェルトを張ってチョロ火で水を作る。結果は思ったより快適で結果的には、持って行ったガスが 1/2 残ったほどだ。雪を溶かすときは、火をガンガン炊くと効率が悪いくことを知った。

2 日は快晴でアイゼンで少し下ったところから滑り始める。他のパーティーはなく広い雪原に 3 本のシュプールが気持ちよく伸びる。下るにしたがって雪が重くなり若干の登りも入り四苦八苦する。やはり 15 kg 以上しよって樹林帯を滑るのは難しい。木に激突することだけは避けようと必死で滑るも、小枝をへし折り何度も転びながらやっとの事で帰着した。

### コースタイム

3/1(土) 白骨温泉林道ゲート 6:50 ~

十石峠避難小屋 12:40

3/2(日) 十石峠避難小屋 8:25 ~

白骨温泉林道ゲート 10:50